



原発ゼロ！子どもたちに安全な未来を

日本共産党中央区議会議員

奥村あきこ レポート

ブログもご覧ください 『奥村あきこ』 で検索！



奥村あきこ事務所 中央区月島3-23-5
電話 3531-7136
区議団控室 電話 3546-5575
中央地区委員会 電話 3551-6820

第四定一般質問 パート② 保育事故の根絶は、区の責任で

保育ママのもとで相次ぐ事故

昨年7月27日、保育ママのもとで、生後11ヶ月の乳児がお昼寝中に亡くなりました。

1件は病死扱いとなつていてもとの死亡事故は3件目であるので、死亡事故は3件目であ

で中央区議会第4回定例会が開かれ、11月26日には日本共産党区議団を代表して、私が質問に立ちました。今号では保育事故問題についてご報告します。



質問する私（11月26日）

り、内閣府の担当者と話したところ、これだけ死亡事故が相次いでいるのは、中央区だけとのことでした。

今回の事故を受け、事後の検証委員会が設置され、再発防止の検討が行われているものの、どう有効な検証がされるのか、注視が必要です。

**保護者から相談つけ
区を追及するも、不明点多く**

今回、当該乳児のお父さんから連絡を受けたため、聞き取った内容をもとに質問しました。事故当日、呼吸がないことが確認されてから救急車を要請するまで14分かかっていますが、2016年の死亡事故後に区が作成したマニュアルには「体調急変時には躊躇なく救急車の出動を要請する」とあります。それが実行されなかつたことは重

大です。

当時、保育ママと複数名の保育補助者がいたとされながら、なぜ迅速に救急車を呼ぶことができなかつたのか質問しましたが、区は答弁を避けました。

一般質問でも委員会質問でも、事故の何をどう検証するのか、といった点については「検証委員会が判断するもの」という旨の答弁に区は終始しています。

【...次ページにつづく】

【質問事項】

- 国益を損ねる安倍政権について
- 消費税増税について
- 築地の今後について
- 大規模開発優先の税金の使い方について
- 国民健康保険について
- 保育ママのもとでの死亡事案について
- 市街地再開発事業における駐輪スペース設置について

検証委員会任せではなく、区も

議会もしつかり係わり、真の再発防止策を講じることが求められます。

死亡事故を根絶し、幼い命をまもる責任はたせ

は「利用者と事業者との直接契約」と答弁しました。しかし、

保育ママを認可し、保育ママを紹介しているのは中央区です。認可保育所を希望しても入れないため、保育ママを利用せざるを得ない方もいる中で、事故は起きています。

多くの保護者が望む認可保育所を整備すること、保育所が足りなくなるような急激な人口増を招く市街地再開発事業を見直していくことが必要でないでしょうか。



市街地再開発の計画に十分な駐輪スペース設置を位置づけて

一般質問では、急激な人口増によつて不足している駐輪スペースの問題も取り上げました。

利用者から、とまどいの声

市街地再開発事業により建てられた月島2丁目のタワーマンション「ムーンアイランドタワー」の敷地内に、昨年5月からロープが張られ、自転車が締め出されるという状況が続いています。

当該マンションにはスーパー

「歩道や裏道での駐輪が増え、道を歩きづらい」など、怒りや戸惑いの声が上がっています。

「歩道や裏道での駐輪が増え、道を歩きづらい」など、怒りや戸惑いの声が上がっています。

区の責任で駐輪スペースを

そもそも問題は、スーパーなどが入居しているのに、十分な駐輪スペースがないことです。

市街地再開発事業で建てられた「勝どきビュータワー」や「浜町トルナーレ」などでも同様に自転車が集中しています。

市街地再開発事業には区が多額の補助金を投入しています。計画段階で、買い物客の見込みを正確に捉え、十分な駐輪スペース整備を開発業者側に義務づけるよう求めましたが、区は「見込みは算出している」「管理組合に対し運用の改善を指導する」と述べるに留まりました。



駐輪禁止となったスペース
(6月に撮影)

